

R7年度 学校評価（教職員用）

A：はい B：どちらかというとはい C：どちらかというといいえ D：いいえ E：わからない

1 学校目標・校務分掌について		A	B	C	D	E
1	あなたは、学校教育目標（知・徳・体の調和を図り、心身共に健康で人間性豊かな生徒の育成）の達成に向けて教育活動に取り組むことができた。	23%	67%	5%	0%	5%
2	七林中学校の校務分掌組織は、連携し機能している。	9%	50%	14%	18%	9%
3	あなたは、担当している分掌にやりがいを感じている。	41%	36%	0%	0%	23%
2 教育課程・行事について		A	B	C	D	E
4	七林中学校の日課時刻、時間割は望ましい形である。	63%	0%	0%	25%	12%
5	七林中学校では、教科・道徳・学級・総合の授業時数は確保されていた。	84%	0%	0%	0%	16%
6	学校行事（保護者会・授業参観・三者面接・教育相談・旅行的行事・体験学習）の実施時期は適切である。	85%	0%	0%	0%	15%
7	学校行事（保護者会・授業参観・三者面接・教育相談・旅行的行事・体験学習）の実施方法は適切である。	84%	0%	0%	8%	8%
3 学年・学級について		A	B	C	D	E
8	あなたは学年・学級経営目標や方針に沿って教育活動を展開できた。	46%	36%	9%	0%	9%
9	あなたは学年・学級間で連携をとり、相互に助け合い、機能する職員集団となるように努めた。	45%	45%	5%	0%	5%
4 学習指導、研究・研修、道徳、総合、情報について		A	B	C	D	E
10	あなたは、研究主題（『学びあい』を通して、自ら学び、判断し、表現する生徒の育成）を意識し授業を工夫・改善した。	36%	50%	5%	0%	9%
11	七林中学校では、個に応じた指導や支援の充実が図られた。	23%	55%	4%	0%	18%
12	あなたは、昨年よりも、主体的・対話的で深い学びを促す学習活動を展開することができた。	32%	41%	0%	0%	27%
13	あなたの所属する教科部会は充実していた。	41%	32%	9%	0%	18%
14	評価方法について、あなたが所属する部会内で、共通理解できた。	41%	36%	5%	0%	18%
15	あなたは、より良い授業を目指し、教材研究に努めた。	46%	36%	9%	0%	9%
16	あなたは、基礎学力が定着するような授業を行った。	36%	50%	9%	0%	5%
17	あなたは、思考力・判断力・表現力を高める指導に努めた。	14%	64%	13%	0%	9%
18	あなたにとって校内の研修は有効であった。	41%	36%	9%	5%	9%
19	あなたにとって校外の研修（千教研や市総セ・県総セの研修）は有効であった。	27%	46%	9%	0%	18%
20	道徳：あなたは、年間指導計画に基づき、重点目標（①豊かな心を備えた生徒の育成②他人を思いやる言動ができ、互いの人格を認め合う生徒の育成③生命を尊び、節度と調和のある生徒の育成）が達成できた。	23%	50%	9%	0%	18%
21	総合：あなたは、年間指導計画に基づき、目標（①地域の様々な事象に関する体験活動を通して、学び方やものの考え方を身につけようとする生徒の育成②問題解決や探究活動において、自ら課題を発見し、仲間と協力して解決に取り組み、自己のあり方や生き方を身につけようとする生徒の育成）が達成できた。	18%	45%	5%	5%	27%
22	情報：学校は、生徒に情報モラルの尊重・主体的に活用できる能力の育成を図った。	36%	41%	0%	0%	23%
23	情報：あなたは、生徒に機器の使い方を理解させ、正しく使用させた。	23%	45%	18%	5%	9%
24	あなたは、ICT機器（chromebookや電子黒板）を活用して授業を行うことができた。	50%	36%	9%	5%	0%
5 生徒指導について		A	B	C	D	E
25	あなたは、指導目標「生徒一人一人が生き生きと意欲的に活動する学校を目指す（気づく・考える・行動する）」を達成できた。	27%	59%	9%	0%	5%
26	あなたは、積極的な生徒指導を行うことができた。	36%	36%	14%	0%	14%
27	あなたは、不登校生徒や遅刻、欠席の多い生徒に対して、適切に対応できた。	36%	50%	5%	0%	9%
28	七林中学校は、教育相談の充実が図られていた。	32%	64%	0%	0%	4%
29	あなたは、保護者と連携が密にとれた。	23%	54%	9%	0%	14%
30	七林中学校は、関係機関と連携がとれていた。	41%	41%	4%	0%	14%
31	七林中学校は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携が密にとれていた。	45%	41%	0%	0%	14%
32	七林中学校では、特別な支援を要する生徒に対して、個に応じた指導を図ることができていた。	41%	55%	4%	0%	0%
33	七林中学校では、職員間で連携をとり、共通理解のもと指導ができた。	18%	45%	23%	9%	5%
34	あなたは、常に報告・連絡・相談を心がけながら教育活動を行った。	41%	59%	0%	0%	0%
6 保健・給食・安全・部活動について		A	B	C	D	E
35	あなたは、健康観察により生徒の心身の健康状態を把握することができた。	45%	50%	0%	0%	5%
36	あなたは、適切に給食指導を行うことができた。	27%	55%	5%	0%	13%
37	あなたは、清掃指導を積極的に行った。	41%	55%	4%	0%	0%
38	あなたは、安全指導（登下校指導や避難訓練を含む）を的確に行った。	41%	50%	9%	0%	0%
39	部活動において、あなたは七林中学校の基本方針及び活動規定にしたがって、指導することができた。	27%	55%	5%	0%	13%
7 特別活動の指導について		A	B	C	D	E
40	あなたは、年間計画に基づき、指導目標 { (1) 集団生活の中でよりよい人間関係を作る資質を育てる。(2) 様々な集団活動に自主的・実践的に参加しようとする態度を育てる。(3) 個性を伸ばし自己実現を図ろうとする態度を育てる。 } を達成できた。	18%	59%	0%	0%	23%
41	七林中学校では、生徒会活動（学年評議委員会、常任委員会を含む）が充実していた。	86%	0%	0%	7%	7%
8 施設・設備の管理について		A	B	C	D	E
42	あなたは、施設や設備、備品の管理を適切に行った。	36%	59%	0%	0%	5%
9 その他		A	B	C	D	E
43	あなたは、他の職員と良好なコミュニケーションをとることができた。	27%	59%	9%	0%	5%
44	個人情報の取り扱いについて、あなたは、きまりを守り、適切に行った。	68%	32%	0%	0%	0%
45	あなたは、教室などの戸締まりや整頓をきちんと行った。	68%	32%	0%	0%	0%
46	七林中学校にとって、この学校評価の内容は適切であった。	46%	36%	0%	0%	18%

令和7年度 学校評価 (生徒用)

全学年

※ 評価 A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない

	評 価 内 容	評価 (%)				
		A	B	C	D	E
1	あなたは、進んであいさつをしている。	51%	43%	6%	0%	0%
2	あなたは、基本的な生活習慣が身についている。	34%	55%	7%	2%	2%
3	あなたは、学校が楽しい。	53%	36%	6%	3%	2%
4	あなたは、授業の内容を理解している。	25%	54%	15%	5%	1%
5	あなたは、家庭学習をしている。	21%	44%	23%	12%	0%
6	あなたは、よく読書をする。	15%	26%	32%	26%	1%
7	あなたは、期日を守って提出物を出している	40%	43%	13%	4%	0%
8	あなたは、部活動や習い事に一生懸命取り組んでいる。	61%	26%	6%	3%	4%
9	あなたは、自分の健康に気を配って生活している	35%	43%	17%	4%	1%
10	あなたは、ルールやマナーを守るように心がけて生活している。	58%	38%	3%	1%	0%
11	あなたは登下校を含め、安全に気を付けて生活している。	62%	34%	3%	1%	0%
12	あなたは、困ったときに相談できる先生がいる。	38%	35%	11%	7%	9%
13	学校は、生徒の悩みや困り事に適切に対応している。	33%	39%	8%	3%	17%
14	学校は、アンケート調査を実施するなど、いじめの早期発見・対応に努めている。	49%	38%	4%	2%	7%
15	授業では、話し合い活動をよく行っている。	58%	35%	5%	1%	2%
16	授業では、その時間の「目標」が提示されている。	46%	44%	5%	1%	4%
17	七林中は、行事が盛り上がる。	81%	17%	0%	0%	2%
18	七林中は、学習や運動しやすい環境が整っている。	52%	40%	4%	1%	3%
19	七林中には、自慢できること（もの）がある。	36%	43%	5%	3%	13%
20	学校は、授業等でICT機器（Chromebookや電子黒板等）をよく活用している。	78%	20%	1%	0%	1%

令和7年度 学校評価 (保護者)

全学年

※ 評価 A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない

	評価内容	評価 (%)				
		A	B	C	D	E
1	お子様は、進んであいさつをしている。	26%	59%	10%	1%	4%
2	お子様は、基本的な生活習慣が身についている。	39%	51%	7%	3%	0%
3	お子様は、学校が楽しいと言っている。	34%	55%	7%	3%	1%
4	お子様は、授業がわかりやすいと言っている。	3%	56%	23%	7%	11%
5	お子様は、家庭学習をしている。	18%	43%	29%	9%	1%
6	お子様は、よく読書をしている。	9%	16%	36%	38%	1%
7	お子様は、期日を守って提出物を出している。	34%	45%	11%	3%	7%
8	お子様は、部活動や習い事に一生懸命取り組んでいる。	56%	35%	3%	5%	1%
9	お子様は、病気・けが予防や栄養摂取に対する意識が高い。	21%	50%	23%	4%	2%
10	お子様は、地域の行事に積極的に参加している。	6%	27%	40%	22%	5%
11	学校は、お子様が理解しやすいように授業を工夫している。	7%	59%	12%	2%	20%
12	学校は、授業等でICT機器を効果的に活用している。	25%	55%	6%	0%	14%
13	学校は、生徒の学力や成績を適切に評価している。	15%	66%	7%	2%	10%
14	学校は、社会のルールやマナーを身につけさせようとしている。	27%	63%	4%	1%	5%
15	学校は、子供にとって悩みや困ったことを相談しやすい。	0%	55%	21%	5%	19%
16	学校は、保護者にとって悩みや困ったことを相談しやすい。	12%	57%	17%	3%	11%
17	学校は、スクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。	9%	47%	11%	2%	31%
18	学校は、保護者や地域への情報提供を積極的に行っている。	15%	61%	9%	2%	13%
19	地域・保護者における子供の見守り活動が充実している。	16%	56%	13%	0%	15%
20	地域・保護者における学校を支援する体制が充実している。	12%	53%	7%	0%	28%
21	学校は、いじめや問題行動に的確に対応している。	8%	43%	9%	1%	39%
22	学校は、アンケート調査を実施するなど、いじめの早期発見に努めている。	11%	52%	6%	1%	30%
23	学校は、いじめ防止に対して積極的に取り組んでいる。	9%	43%	8%	1%	39%
24	学校は、個に応じた指導・支援を行っている。	11%	48%	9%	3%	29%
25	体育祭や合唱祭等の学校行事で生徒が積極的に取り組んでいる姿が見られる。	63%	34%	0%	0%	3%
26	学校は、学習や運動しやすい環境が整っている。	26%	64%	7%	0%	3%
27	学校は、登下校指導や避難訓練等を含めた安全教育に努めている。	24%	54%	5%	1%	16%

令和7年度 学校評価 (学校運営協議員)

※ 評価 A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない

	評価内容	評価 (%)				
		A	B	C	D	E
1	学校は「自ら学び、深く考える(自学)」「心豊かで思いやりのある生徒(友愛)」「健康でたくましい生徒(活力)」の育成に努めている。	25%	75%	0%	0%	0%
2	学校は勉強や運動しやすい環境が整っている。	50%	50%	0%	0%	0%
3	学校は授業等でICT機器を効果的に活用している。	25%	75%	0%	0%	0%
4	学校は家庭や地域への情報提供を積極的に行っている。	0%	50%	25%	0%	25%
5	学校は登下校指導や避難訓練等の安全教育に努めている。	25%	75%	0%	0%	0%
6	体育祭や合唱祭等、学校行事で生徒が積極的に取り組んでいる姿が見られた。	50%	50%	0%	0%	0%
7	生徒は進んであいさつをしている。	25%	75%	0%	0%	0%
8	生徒は社会のルールやマナーを守っている。	0%	100%	0%	0%	0%
9	生徒が理解しやすいように授業が工夫されている。	25%	50%	0%	0%	25%
10	生徒は部活動等に一生懸命取り組んでいる。	50%	50%	0%	0%	0%
11	よりよい学校にするために必要なことがあれば記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域への情報提供を、もっとしていけるといいと感じる。 ・ 下校時広がって歩いている状況が改善されていないので、指導を強化してほしい。 ・ 朝のあいさつ運動に参加する保護者が少なかったように感じる。担任の先生も顔を出してくれるとありがたい。 ・ 学校評議員は、現役保護者に近い人を選出した方がいい。(学校の様子がわかる人の方がいい) ・ 生徒一人ひとりが卒業するとき「七林中でよかった。」といえる学校であってほしい。 					

分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果の考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導と心の教育を充実させる。 学力の向上と自己教育力を育成する。 コミュニケーション能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活力があり、いきいきと活動する生徒の育成が図られているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者ともに、進んであいさつをすることができているとの回答が8割以上となった。また、「学校が楽しい」と答えた生徒も8割以上、「行事が盛り上がる」と答えた生徒がほぼ10割であった。保護者も同様の結果となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も関係する項目について、肯定的な回答が多かったが、挨拶・行事等、生徒主体の取り組みになっていない部分がある。生徒自身が現状を踏まえ、自分たちで進んで取り組んでいける仕組み作りが必要。 人権教育の充実を図り、生徒同士で問題を解決していくための力をつけさせていく必要がある。 授業改善に向けた取り組みについて、保護者に発信していけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の実現に向けた学校側の取り組みについて、肯定的な意見が多かった。 今年度も、学校評議員会や授業参観、他の学校行事を通して、生徒の様子や教職員の指導している姿を見て、充実していると感じたと回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> より一層、学校だよりやホームページ等を通して、学校の様子を発信することで、保護者や地域の理解を深める。 心の教育を充実させるために道徳科で外部講師を招く等授業改善に努める。
		<ul style="list-style-type: none"> 仲間を大切にし、隣人や自然を大切にしている生徒の育成が図られているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や行事に対し、意欲的に取り組む姿が見受けられた。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 進んで活動し、進んで学習する生徒の育成が図られているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員側の授業改善を意識しながら、ICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ってきた。しかし、授業がわかりやすいかという質問に対し、保護者の肯定的な回答が約5割となっている。 			
分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果の考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校組織や学校運営を円滑に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌は連携し、機能しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価が6割を切っており、改善の必要がある。 各部会のリーダーが中心となって校務にあたる様子が見られた。 代替職員が配置されなかったこともあり、職員一人ひとりかなりの仕事量がのしかかってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> やりがいを感じているが、教職員同士が連携し、機能はしていない」という現状を踏まえ、次年度は、今まで以上に教職員一人一人の意見を聞きながら、情報を整理し、適正を見極めたいと考えている。そのうえで、偏りのない分掌で、機能的に校務が行われるように調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子から、教職員が教育活動に尽力していると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標申告や業績評価の面接等を活用し、できる限り教職員が円滑に教育活動が行えるように校務分掌を調整する。 特に来年度は、産育休者が多数いることから、校務分掌についてしっかり精査していく。
		<ul style="list-style-type: none"> 自身が担当している校務について、やりがいを感じる機会や達成感を得る機会はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価が8割を超えた。 			
学習指導・教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上と自己教育力を育成する。また、生徒一人一人がいきいきと活動できるように環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題「主体的に考動し、互いに高め合う生徒の育成」を意識し、授業を通して工夫・改善ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度よりも肯定的評価が約9割となった。 研究授業等の様子から、意欲をもって授業改善に取り組む教職員が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善を進める中で、ICTをより効果的に活用し、基礎学力の定着や個別指導の充実、主体的・対話的で深い学びの充実を目指す。 保護者の理解を得るために学校だよりやホームページ、保護者会等を利用して、情報を積極的に発信する。 朝、読書の時間をしっかりと確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が積極的に対話し、授業に参加する姿が見られた。 職員と生徒の人間関係が良好だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題を念頭に置き、授業改善に努めていく。 授業研究会や相互授業参観、外部講師を招いた授業参観を行うことで、より一層質の高い教育を目指す。 よりよい形で、公開日を迎えられるよう準備する。 教育課程を再度確認し、共通理解を図って進めていく。
		<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着や個別指導の充実が図られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の肯定的な評価が8割に対して、保護者の肯定的な評価は6割に満たない。 今年度は放課後に特別な学習時間（七林塾）の奇数を増やし、学習が不得意な生徒一人一人の疑問や相談について、丁寧に対応した。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 昨年度よりも、主体的・対話的で深い学びを促す授業を展開することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 7割以上が肯定的な回答だった。一方で、わからないと回答した職員が約3割いた。 			

		<ul style="list-style-type: none"> ICT機器(chromebookや電子黒板)を活用して授業を行うことができたか。 日課時刻、時間割、学校行事は望ましい形であったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や生徒、学校関係者の評価は高いものであった。 保護者の評価について、昨年度は「わからない」と回答した保護者が多かったが、今年度は減少した。 行事については、評価から充実したものであったことがわかる。 本年度から45分日課を増やし、変則的な日課を取り入れているが、職員・生徒ともに戸惑う部分があった。 			
研修	<ul style="list-style-type: none"> より良い教育活動を行うために、校内研修を充実させる。また、校外の研修にもできる限り参加し、個々でスキルアップを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の研修は有効であったか。 校外の研修は有効であったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価が7割程度であった。 本年度も中堅の教職員が中心となり、初若年層向けの研修を意欲的に行っていた。 肯定的な評価が7割程度であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 公開に向け、校内研修を充実させるために、研修の企画・運営を見直す。 積極的に外部講師等を招く。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導でも述べた通り、工夫した授業を行う教職員が増えた。努力がうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導力や授業力等を向上させたいと考えている教職員が多いので、意見交換する場を積極的に設け、現在の状況をよりよくしたい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒が生き生きと明るく意欲的な学校生活を送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導目標「生徒一人一人が生き生きと意欲的に活動する学校を目指す(気づく・考える・行動する)」を達成できたか。 積極的な生徒指導の充実が図られたか。 不登校生徒や遅刻、欠席の多い生徒に対して、適切に対応できたか。 生徒理解を基盤とした教育相談の充実やスクールカウンセラーとの連携が図られたか。また、教育相談体制が整備されていたか。 いじめを早期に発見し、早期対応が図られているか。 常に報告・連絡・相談を心がけ、共通理解のもと指導することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導主事が積極的に話を聞いて回り、助言する姿が見受けられた。 生徒指導主事が、教職員一人一人に対して、丁寧な説明する姿が見られた。 週1回の生活部会で相談しながら対応した。また、場合によっては関係機関と連携をとった。 教職員の教育相談に対する意識は、肯定的な評価が高い。 スクールカウンセラーへの相談体制について、より一層周知が必要。 いじめに関するアンケートや教育相談を活用し、早期発見・早期対応に努めた。 報告・連絡・相談については、再度共通理解が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導主事を中心として、本校の実態にあった指導方法を提案し、諸問題について組織的な対応が行われるように資料提供や研修を行う。学校全体の共通理解を図るうえで効果的であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時のマナーについて、再度確認してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな些細なことでも、報告・連絡・相談を大切し、進めていけるよう再確認していく。 登下校を含め、マナーについて再度確認していく。
保健・安全・給食指導	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全な生活に対する意識の向上を図り、すすんでその管理に取り組む姿勢や態度を育てる。また、食事のマナーを守り、健全な食生活を実践できる力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の健康観察により、生徒の心身の健康状態を把握することができたか。 安全指導(登下校指導や避難訓練を含む)を的確に行ったか。 適切に給食指導を行うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の内面的な部分を更に知る必要がある。 比較的肯定的な意見が多かった。 肯定的な評価であった。給食委員会の活動が積極的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の評価に満足せず、生徒の内面的な部分をケアできる方法を研修を通して学ぶ。 登下校の仕方等について、ロールプレイ等の工夫した指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食試食会等の工夫をした活動が良いと感じた。 登下校の様子が若干気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の仕方について、ロールプレイ等の工夫した指導を行う。 スケアードストレートを取り入れていく。 自転車の乗り方について指導の機会をつくる。

保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校を目指す。また、地域や保護者から支援されるような学校をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携が密にとれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価が多かった。 何かあった時に、保護者と一緒に解決していけるよう連携を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らが積極的に地域ボランティア等に参加してほしい。 学校の情報をもっと発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や町会と連携して、地域行事の紹介を積極的に行う。 学校での取り組みについて、ホームページ等を活用し、常時発信できるようにする。
		<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域への情報提供を積極的に行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導についての発問に対し「わからない」との回答する保護者が多いことが気になる。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 地域、保護者における学校を支援する体制が充実しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わからない」との回答が3割程度あり、周知されていないこともあるように感じた。 			
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員による特別な教育支援を必要とする生徒の理解と指導・支援の協力体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導を図ることができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が生徒に寄り添い、意欲的に関わっていた。しかしながら、知識が足りない場面も見られた。 自閉、情緒学級の形は、できつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてケース会議を開き、個別の教育支援計画や個別の指導計画を充実させる。 校内研修を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が生徒一人一人に寄り添い、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を通して、正しい知識を身に付けたうえで、個別の教育支援計画や個別の指導計画を見直す。 校内教育援センターの運営を、より充実させたい。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の整備と施設や設備、備品の管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習や運動しやすい環境が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に高い評価を得た。しかしながら、もう少しインターネットの環境を良くしてほしいという要望が数件あった。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会等と連携して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が過ごしやすい環境である。 	<ul style="list-style-type: none"> 我々教職員ができることをしっかりと行い、できないところを教育委員会等と相談する。 生徒の安全を意識し、日頃から職員一人ひとりが気にかけてながら業務に当たる。
		<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備、備品の管理は適切に行えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価が9割を超えた。 			